

「新世代スタンドアローン微量分光光度計DS-11による測定」

このたび研究基盤センターアイソトープ部門は、新たに微量分光光度計（DeNovix DS-11）を設置しました。既設機器のNanoDropと同様の装置です。

測定の原理や操作方法、測定する上で注意するポイント等について解説してもらいます。

本学所属の方であればどなたでもご参加いただけます。

- 日程：2022年3月24日（木）13:20～14:20（予定）
- 方法：Zoomによるオンライン形式
- 講師：大野 豊 氏（株式会社スクラム）



【装置概要】

- 核酸（DNA、RNA）、タンパク質（A280）などの吸光度による定量について、微量（1 μ lから）で行うことが可能
- 低濃度でも高感度で検出、幅広いダイナミックレンジ
- 操作性の良いタッチスクリーンを搭載したスタンドアローン型で、パソコンを起動させる必要なし

【お申し込み方法】氏名・所属を**3/22（火）までに**メールにてお知らせください（件名は「テクニカルセミナー参加希望」としてください）

【お問合せ、お申込み先】

研究基盤センターアイソトープ部門（csrea-isotope2@research.kobe-u.ac.jp）